



平成 29 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 助野 健児
(コ ー ド 番 号 : 4 9 0 1 東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 経営企画部
コーポレートコミュニケーション室長
吉澤 ちさと
(TEL : 03-6271-1111)

(訂正)「平成 28 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔米国基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 27 年 7 月 30 日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容につきましては 7 月 31 日付「第 121 期有価証券報告書の提出、過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては 6 月 28 日付「第 121 期有価証券報告書(自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)の提出期限延長に係る承認申請に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線____を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 富士フィルムホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中嶋 成博
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 吉澤 ちさと TEL 03-6271-1111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	586,676	5.5	33,895	16.2	42,278	45.0	22,763	64.6
27年3月期第1四半期	556,116	△1.8	29,168	44.5	29,158	14.9	13,828	18.8

(注) 四半期包括利益 28年3月期第1四半期 61,694百万円 (468.6%) 27年3月期第1四半期 10,851百万円 (△79.4%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	47.38	47.23
27年3月期第1四半期	28.69	28.61

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,525,506	2,442,918	2,217,594	62.9
27年3月期	3,501,950	2,418,177	2,195,539	62.7

(注) 資本合計(純資産)は、P. 8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	25.00	-	35.00	60.00
28年3月期	-				
28年3月期(予想)		32.50	-	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,580,000	4.7	190,000	15.6	190,000	0.5	120,000	8.2	248.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成27年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

(注) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期1Q	514,625,728株	27年3月期	514,625,728株
28年3月期1Q	39,417,205株	27年3月期	32,398,163株
28年3月期1Q	480,403,603株	27年3月期1Q	481,972,519株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 5
4. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(四半期連結損益計算書)	P. 8
(四半期連結包括利益計算書)	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減額	増減率
国内売上高	38.1%	2,235	40.3%	2,239	△4	△0.2%
海外売上高	61.9%	3,632	59.7%	3,322	310	9.3%
売上高	100.0%	5,867	100.0%	5,561	306	5.5%
営業利益	5.8%	339	5.2%	292	47	16.2%
税金等調整前四半期純利益	7.2%	423	5.2%	292	131	45.0%
当社株主帰属四半期純利益	3.9%	228	2.5%	138	90	64.6%
為替レート(円/米\$)		121円		102円		19円
為替レート(円/Euro)		134円		140円		△6円

(注) 表紙の「税引前四半期純利益」及び「当社株主に帰属する四半期純利益」を、「税金等調整前四半期純利益」及び「当社株主帰属四半期純利益」に、それぞれ読み替えております。

平成28年3月期第1四半期累計期間(平成27年4月1日～6月30日)の世界経済を概観すると、全体として緩やかな回復基調が継続しました。米国では、個人消費を中心に、景気は緩やかな拡大が続きました。欧州では、英国の景気が底堅さを維持していることに加え、ユーロ圏の景気も緩やかな回復が続きました。アジアでは、中国の景気の拡大テンポは一段と緩やかになっているものの、総じて堅調な成長を維持しました。日本においては、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループは平成26年11月に策定した中期経営計画「VISION2016」(平成27年3月期～平成29年3月期)を達成すべく、「ヘルスケア」「高機能材料」「ドキュメント」の3事業分野を成長ドライバーとし、拡販活動や新製品の市場投入により、売上、シェア及び利益の拡大を進めています。また、その他の事業においてもビジネス規模と市場での優位性を維持するとともに、あらゆる企業活動において生産性向上と効率化を進め、全事業における収益性向上に向けた取り組みを加速しています。

当社グループの平成28年3月期第1四半期における連結売上高は、フォトイメージング事業、メディカルシステム事業、グラフィックシステム事業、ドキュメント事業などで売上を伸ばし、5,867億円(前年同期比5.5%増)となりました。

営業利益は、各事業における収益性の改善などにより、339億円(前年同期比16.2%増)となりました。これに加えて、投資有価証券売却益56億円を営業外収益に計上したことなどにより、税金等調整前四半期純利益は423億円(前年同期比45.0%増)、当社株主帰属四半期純利益は228億円(前年同期比64.6%増)となりました。

当四半期の円為替レートは、対米ドルで121円、対ユーロで134円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減額	増減率
イメージングソリューション	857	790	67	8.4%
インフォメーションソリューション	2,140	2,039	101	4.9%
ドキュメントソリューション	2,870	2,732	138	5.1%
連結合計	5,867	5,561	306	5.5%

【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減額	増減率
イメージングソリューション	55	32	23	70.0%
インフォメーションソリューション	135	127	8	6.2%
ドキュメントソリューション	222	211	11	5.6%
全社費用及びセグメント間取引消去	△73	△78	5	—
連結合計	339	292	47	16.2%

「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、フォトイメージング事業で売上を伸ばし、857億円（前年同期比8.4%増）となりました。

当部門の営業利益は、フォトイメージング事業の売上高の増加に伴う粗利の増加などにより、55億円（前年同期比70.0%増）となりました。

フォトイメージング事業では、インスタントカメラ“チェキ”シリーズや多種多様なチェキフィルムなど、撮影したその場で写真プリントが楽しめるインスタントフォトシステムの販売が全世界で好調に推移しました。また、多くの写真データから良い写真を自動でレイアウトし1冊のアルバムにする「Year Album」や複数の写真を1枚にまとめてプリントする「シャッフルプリント」などの付加価値プリントビジネスの拡大と、付加価値プリントを可能にするプリント機器の販売・設置が進んだことにより売上が大幅に増加しました。

光学・電子映像事業の電子映像分野では、デジタルカメラの高級機へのシフトに伴い販売台数が減少し、売上は減少したものの、プレミアムデジタルカメラ「Xシリーズ」の販売が好調に推移しました。平成27年6月に小型軽量ボディで卓越した写真画質と快適な操作性を実現するプレミアムミラーレスカメラ「FUJIFILM X-T10」の販売を開始しました。今後も「Xシリーズ」のラインアップを強化していきます。光学デバイス分野では、スマートフォン用カメラモジュールの販売が低調に推移し、売上が減少しました。今後、他社に先駆けて発売した4Kカメラ対応の放送用ズームレンズの拡販などにより、売上拡大を図ります。

「インフォメーションソリューション部門」

インフォメーションソリューション部門の連結売上高は、フラットパネルディスプレイ材料事業の売上が減少したものの、メディカルシステム事業やグラフィックシステム事業などで売上を伸ばし、2,140億円（前年同期比4.9%増）となりました。

当部門の営業利益は、売上高の増加に伴う粗利の増加や収益性改善などにより、135億円（前年同期比6.2%増）となりました。

メディカルシステム事業では、医療ITシステム、内視鏡、超音波診断装置などの販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。X線画像診断分野では、低価格・小型デジタルX線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズの販売が新興国などの海外を中心に、DR方式・カセット型デジタルX線画像診断装置「CALNEO（海外名称：D-EVO）」シリーズの販売が国内・欧米を中心に、それぞれ好調に推移しました。医療IT分野では、医療情報統合による診療支援のため、医用画像情報システム（PACS）を中心に診療分野での事業拡大を進めています。平成27年5月にはPACSの診断画像や各種動画など病院内の各診療科が扱う広範な診療情報を効率的に管理・保管するアーカイブシステムを提供する米国医療ITシステムメーカー TeraMedica, Inc.（テラメディカ社）の買収を完了し、連結子会社化しました。テラメディカ社のシステムと、当社の医療ITシステムを組み合わせることで、今まで以上に効率的で、診断に寄与するソリューションを提案していきます。内視鏡分野では、新高画質電子内視鏡や次世代内視鏡システム「LASEREO」などの販売が好調に推移しました。平成27年5月には「LASEREO」用スコープとして初めて高解像度CMOSセンサーを搭載した、下部消化管用拡大スコープ「EC-L600ZP」の販売を国内で開始しました。超音波診断分野では、ハイエンド超音波画像診断装置「X-Porte」の販売が北米と豪州を中心に好調に推移しました。

医薬品事業では、国内の抗菌薬市場全体が低調であったものの、バイオ医薬品受託製造が堅調に推移し、売上は増加しました。また、キノロン系経口合成抗菌薬「T-3811」の中国における独占販売契約を、平成27年6月に現地有力製薬会社の深圳万樂薬業有限公司と締結しました。研究開発においては、抗がん剤やアルツハイマー型認知症治療薬などのパイプラインの開発を着実に推進しています。

再生医療事業では、iPS細胞の開発・製造の世界的なリーディングカンパニーである米国Cellular Dynamics International, Inc.の買収を平成27年5月に完了し、連結子会社化しました。平成26年12月に連結子会社化した株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングと共に、当社グループ内でのシナジーを発揮し、製品開発の加速、事業領域の拡大を進めていきます。

ライフサイエンス事業では、新製品の多機能UVクリア美容液「アスタリフト ホワイト パーフェクトUV クリアソリューション」の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、偏光板の在庫調整などの影響を受け、売上が減少しました。今後、需要の回復が見込まれる液晶テレビ向けで拡販を図るとともに、需要が拡大している中小型ディスプレイ向けに薄膜品の拡販を推し進めます。さらに偏光板に留まらず、タッチパネル及びバックライト関連など新規分野への展開を図っていきます。

産業機材事業では、スマートフォン・タブレット・ノートPCなどに搭載されるタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」や太陽電池用バックシートなど新規事業の販売が好調に推移したことなどにより、売上が大幅に増加しました。

電子材料事業では、先端品のフォトリソト及び現像液、処理剤などのフォトリソ周辺材料の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

記録メディア事業では、データストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移し、売上が増加しました。世界中で生成されるデータ総容量の急激な増大が予想される中、「BaFe（バリウムフェライト）磁性体」などの独自技術によるテープ高容量化で業界をリードするとともに、データアーカイブサービス「d:ternity（ディターニティ）」のさらなる展開などにより、長期保存分野への一層の高付加価値製品とサービスの提供を進め、売上拡大を図ります。

グラフィックシステム事業では、産業用インクジェットヘッドなどの販売が好調に推移し、売上が増加しました。今後も主力であるCTPプレートのシェア拡大に加え、デジタルプリンティング機器の拡販などにより、売上拡大を図ります。

「ドキュメントソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出の売上が増加し、2,870億円（前年同期比5.1%増）となりました。

当部門の営業利益は、継続的な販売価格の下落と米ドル高による原価アップの影響はあったものの、売上高の増加に伴う粗利の増加などにより、222億円（前年同期比5.6%増）となりました。

オフィスプロダクト事業では、販売台数は増加しましたが、売上は前年同期並みとなりました。国内においては、カラー複合機販売が好調に推移しました。アジア・オセアニア地域においては、モノクロ複合機販売が好調に推移しました。

オフィスプリンター事業では、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

プロダクションサービス事業では、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売が中高速機から低速機まで好調に推移したことに加え、モノクロ・プロダクション・プリンターの販売も好調に推移し、売上が増加しました。

グローバルサービス事業では、マネージド・プリント・サービス（MPS）ビジネスが好調に推移し、国内及びアジア・オセアニア地域ともに売上が増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

平成28年3月期第1四半期末は、営業権が増加したことなどにより、前期末（平成27年3月31日）に比べ、資産合計が235億円増の3兆5,255億円となりました。負債は12億円減の1兆826億円となりました。株主資本は221億円増の2兆2,176億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ5.6ポイント減の306.1%、負債比率は0.6ポイント減の48.8%、株主資本比率は0.2ポイント増の62.9%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	686	1,018	△332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△547	△357	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449	△357	△92

平成28年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、686億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、事業の買収などにより、547億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、138億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式取得などにより、449億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の平成28年3月期第1四半期末残高は、前期末（平成27年3月31日）に比べ239億円減少し、7,030億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期業績は、当社グループの重点事業である「ヘルスケア」「高機能材料」「ドキュメント」を中心とした事業成長に加え、各事業における収益性の改善などにより、連結売上高は2兆5,800億円（前期比4.7%増）、営業利益は1,900億円（前期比15.6%増）、税金等調整前当期純利益は1,900億円（前期比0.5%増）、当社株主帰属当期純利益は1,200億円（前期比8.2%増）を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを120円、対ユーロ円為替レートを130円で想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別 平成28年3月期 第1四半期 連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成27年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]			
流動資産			
現金及び現金同等物	703,019	726,888	△23,869
有価証券	18,023	19,033	△1,010
受取債権			
営業債権及びリース債権	599,377	651,346	△51,969
関連会社等に対する債権	30,648	31,816	△1,168
貸倒引当金	△26,970	△27,009	39
	603,055	656,153	△53,098
棚卸資産	398,000	367,386	30,614
前払費用及びその他の流動資産	151,378	144,034	7,344
流動資産 合計	1,873,475	1,913,494	△40,019
投資及び長期債権			
関連会社等に対する投資及び貸付金	31,062	30,021	1,041
投資有価証券	191,250	186,722	4,528
長期リース債権及びその他の長期債権	157,128	145,175	11,953
貸倒引当金	△4,399	△4,370	△29
投資及び長期債権 合計	375,041	357,548	17,493
有形固定資産			
土地	93,433	94,304	△871
建物及び構築物	701,933	699,047	2,886
機械装置及びその他の有形固定資産	1,668,494	1,649,935	18,559
建設仮勘定	23,657	23,396	261
	2,487,517	2,466,682	20,835
減価償却累計額	△1,959,353	△1,939,361	△19,992
有形固定資産 合計	528,164	527,321	843
その他の資産			
営業権	534,732	504,963	29,769
その他の無形固定資産	94,438	80,271	14,167
その他	119,656	118,353	1,303
その他の資産 合計	748,826	703,587	45,239
資産 合計	3,525,506	3,501,950	23,556

単位 百万円

科目	期別 平成28年3月期 第1四半期 連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成27年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	45,869	36,644	9,225
支払債務			
営業債務	232,895	242,626	△9,731
設備関係債務	15,749	16,733	△984
関連会社等に対する債務	3,569	3,723	△154
	<u>252,213</u>	<u>263,082</u>	<u>△10,869</u>
未払法人税等	15,980	20,316	△4,336
未払費用	207,872	192,526	15,346
その他の流動負債	90,033	101,305	△11,272
流動負債 合計	<u>611,967</u>	<u>613,873</u>	<u>△1,906</u>
固定負債			
社債及び長期借入金	312,970	313,045	△75
退職給付引当金	29,794	30,711	△917
預り保証金及びその他の固定負債	127,857	126,144	1,713
固定負債 合計	<u>470,621</u>	<u>469,900</u>	<u>721</u>
負債 合計	<u>1,082,588</u>	<u>1,083,773</u>	<u>△1,185</u>
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	—
普通株式			
発行可能株式総数 800,000,000株			
発行済株式総数 514,625,728株			
資本剰余金	80,166	80,315	△149
利益剰余金	2,111,063	2,088,300	22,763
その他の包括利益(△損失)累積額	120,051	87,462	32,589
自己株式	△134,049	△100,901	△33,148
株主資本 合計	<u>2,217,594</u>	<u>2,195,539</u>	<u>22,055</u>
非支配持分	225,324	222,638	2,686
純資産 合計	<u>2,442,918</u>	<u>2,418,177</u>	<u>24,741</u>
負債・純資産 合計	<u>3,525,506</u>	<u>3,501,950</u>	<u>23,556</u>

(注) その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成27年6月30日現在	平成27年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	75,065	70,832	4,233
為替換算調整額	121,755	94,576	27,179
年金負債調整額	△75,805	△76,966	1,161
デリバティブ未実現損益	△964	△980	16

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高		%		%			%
売上高			<u>496,278</u>		<u>466,537</u>	<u>29,741</u>	<u>6.4</u>
レンタル収入			<u>90,398</u>		<u>89,579</u>	<u>819</u>	<u>0.9</u>
		100.0	<u>586,676</u>	100.0	<u>556,116</u>	<u>30,560</u>	<u>5.5</u>
売上原価							
売上原価			<u>320,749</u>		<u>304,285</u>	<u>16,464</u>	<u>5.4</u>
レンタル原価			<u>35,930</u>		<u>35,433</u>	<u>497</u>	<u>1.4</u>
		60.8	<u>356,679</u>	61.1	<u>339,718</u>	<u>16,961</u>	<u>5.0</u>
売上総利益		39.2	<u>229,997</u>	38.9	<u>216,398</u>	<u>13,599</u>	<u>6.3</u>
営業費用							
販売費及び一般管理費		<u>26.4</u>	<u>154,985</u>	<u>26.8</u>	<u>148,633</u>	<u>6,352</u>	<u>4.3</u>
研究開発費		7.0	<u>41,117</u>	6.9	<u>38,597</u>	<u>2,520</u>	6.5
		<u>33.4</u>	<u>196,102</u>	<u>33.7</u>	<u>187,230</u>	<u>8,872</u>	<u>4.7</u>
営業利益		<u>5.8</u>	<u>33,895</u>	<u>5.2</u>	<u>29,168</u>	<u>4,727</u>	<u>16.2</u>
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			2,134		1,878	256	
支払利息			<u>△1,052</u>		<u>△914</u>	△138	
為替差損益・純額			<u>1,764</u>		<u>△1,048</u>	2,812	
投資有価証券売却損益・純額			5,626		—	5,626	
その他損益・純額			<u>△89</u>		<u>74</u>	<u>△163</u>	
		1.4	<u>8,383</u>	0.0	<u>△10</u>	<u>8,393</u>	—
税金等調整前四半期純利益		<u>7.2</u>	<u>42,278</u>	<u>5.2</u>	<u>29,158</u>	<u>13,120</u>	<u>45.0</u>
法人税等		2.6	<u>15,145</u>	<u>2.1</u>	<u>11,975</u>	<u>3,170</u>	<u>26.5</u>
持分法による投資損益		△0.1	<u>△877</u>	<u>0.0</u>	141	<u>△1,018</u>	—
四半期純利益		<u>4.5</u>	<u>26,256</u>	<u>3.1</u>	<u>17,324</u>	<u>8,932</u>	<u>51.6</u>
控除：非支配持分帰属損益		<u>△0.6</u>	<u>△3,493</u>	<u>△0.6</u>	<u>△3,496</u>	<u>3</u>	—
当社株主帰属四半期純利益		<u>3.9</u>	<u>22,763</u>	<u>2.5</u>	<u>13,828</u>	<u>8,935</u>	<u>64.6</u>

(四半期連結包括利益計算書)

単位 百万円

科目	期別 平成28年3月期 第1四半期 自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	平成27年3月期 第1四半期 自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	増減 (△は減少)
四半期純利益	26,256	17,324	8,932
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後			
有価証券未実現損益変動額	4,413	2,952	1,461
為替換算調整額	29,853	△9,384	39,237
年金負債調整額	1,169	657	512
デリバティブ未実現損益変動額	3	△698	701
その他の包括利益(△損失) 合計	35,438	△6,473	41,911
四半期包括利益	61,694	10,851	50,843
控除：非支配持分帰属四半期包括損益	△6,342	△3,230	△3,112
当社株主帰属四半期包括利益	55,352	7,621	47,731

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減 (△は減少)
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		26,256	17,324	8,932
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		29,503	29,877	△374
(2) 投資有価証券売却損益		△5,626	—	△5,626
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		1,231	139	1,092
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		61,532	75,539	△14,007
棚卸資産の増加		△24,371	△16,200	△8,171
営業債務の減少		△12,869	△15,052	2,183
未払法人税等及びその他負債の増加		14,821	19,093	△4,272
(5) その他		△21,894	△8,884	△13,010
小計		42,327	84,512	△42,185
営業活動によるキャッシュ・フロー		68,583	101,836	△33,253
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△13,795	△16,028	2,233
2. ソフトウェアの購入		△5,784	△3,957	△1,827
3. 有価証券・投資有価証券の売却・満期償還		18,303	1,678	16,625
4. 有価証券・投資有価証券の購入		△10,301	△11,296	995
5. 定期預金の増加(△)・減少(純額)		△571	615	△1,186
6. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加		△2,100	△1,150	△950
7. 事業の買収 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△35,241	1,523	△36,764
8. その他		△5,236	△7,116	1,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		△54,725	△35,731	△18,994
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		668	43	625
2. 長期債務の返済額		△621	△525	△96
3. 短期債務の増加・減少(△)(純額)		9,084	△17,276	26,360
4. 親会社による配当金支払額		△16,878	△14,459	△2,419
5. 非支配持分への配当金支払額		△3,657	△3,497	△160
6. 自己株式の取得(純額)		△33,540	△3	△33,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		△44,944	△35,717	△9,227
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		7,217	△2,732	9,949
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		△23,869	27,656	△51,525
VI. 現金及び現金同等物期首残高		726,888	604,571	122,317
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		703,019	632,227	70,792

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
イメージングソリューション：							
外部顧客に対するもの		<u>14.6</u>	<u>85,637</u>	<u>14.2</u>	79,012	<u>6,625</u>	<u>8.4</u>
セグメント間取引			747		538	209	—
計			<u>86,384</u>		79,550	<u>6,834</u>	<u>8.6</u>
インフォメーションソリューション：							
外部顧客に対するもの		<u>36.5</u>	<u>214,019</u>	36.7	<u>203,925</u>	<u>10,094</u>	<u>4.9</u>
セグメント間取引			271		442	△171	—
計			<u>214,290</u>		<u>204,367</u>	<u>9,923</u>	<u>4.9</u>
ドキュメントソリューション：							
外部顧客に対するもの		<u>48.9</u>	<u>287,020</u>	<u>49.1</u>	<u>273,179</u>	<u>13,841</u>	<u>5.1</u>
セグメント間取引			1,893		1,778	115	—
計			<u>288,913</u>		<u>274,957</u>	<u>13,956</u>	<u>5.1</u>
セグメント間取引消去			△2,911		△2,758	△153	—
連結 合計		100.0	<u>586,676</u>	100.0	<u>556,116</u>	<u>30,560</u>	<u>5.5</u>

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
営業利益：		%		%			%
イメージングソリューション		<u>6.3</u>	<u>5,475</u>	4.0	<u>3,220</u>	<u>2,255</u>	<u>70.0</u>
インフォメーションソリューション		<u>6.3</u>	<u>13,504</u>	6.2	<u>12,717</u>	<u>787</u>	<u>6.2</u>
ドキュメントソリューション		<u>7.7</u>	<u>22,202</u>	<u>7.6</u>	<u>21,023</u>	<u>1,179</u>	<u>5.6</u>
計			<u>41,181</u>		<u>36,960</u>	<u>4,221</u>	<u>11.4</u>
全社費用及びセグメント間取引消去			△7,286		△7,792	506	—
連結 合計		<u>5.8</u>	<u>33,895</u>	<u>5.2</u>	<u>29,168</u>	<u>4,727</u>	<u>16.2</u>

(注1) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージングソリューション

: カラーフィルム、デジタルカメラ、光学デバイス、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーションソリューション

: メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等

ドキュメントソリューション

: オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

② 所在地別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
日本							
外部顧客に対するもの		<u>48.4</u>	<u>284,134</u>	50.8	<u>282,512</u>	<u>1,622</u>	<u>0.6</u>
セグメント間取引			110,825		99,596	11,229	—
計			<u>394,959</u>		<u>382,108</u>	<u>12,851</u>	<u>3.4</u>
米州							
外部顧客に対するもの		<u>18.7</u>	<u>109,674</u>	16.4	91,292	<u>18,382</u>	<u>20.1</u>
セグメント間取引			11,781		10,813	968	—
計			<u>121,455</u>		102,105	<u>19,350</u>	<u>19.0</u>
欧州							
外部顧客に対するもの		8.6	50,623	<u>9.8</u>	54,367	△3,744	△6.9
セグメント間取引			4,546		5,104	△558	—
計			55,169		59,471	△4,302	△7.2
アジア及びその他							
外部顧客に対するもの		24.3	<u>142,245</u>	<u>23.0</u>	<u>127,945</u>	<u>14,300</u>	<u>11.2</u>
セグメント間取引			87,565		74,338	13,227	—
計			<u>229,810</u>		<u>202,283</u>	<u>27,527</u>	<u>13.6</u>
セグメント間取引消去			△214,717		△189,851	△24,866	—
連結 合計		100.0	<u>586,676</u>	100.0	<u>556,116</u>	<u>30,560</u>	<u>5.5</u>

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
営業利益：		%		%			%
日本		<u>2.7</u>	<u>10,471</u>	<u>4.1</u>	<u>15,670</u>	<u>△5,199</u>	<u>△33.2</u>
米州		<u>4.1</u>	<u>4,942</u>	2.6	2,618	<u>2,324</u>	<u>88.8</u>
欧州		<u>8.8</u>	<u>4,848</u>	<u>1.4</u>	<u>824</u>	<u>4,024</u>	<u>488.3</u>
アジア及びその他		<u>6.1</u>	<u>14,098</u>	<u>6.3</u>	<u>12,799</u>	<u>1,299</u>	<u>10.1</u>
セグメント間取引消去			△464		△2,743	2,279	—
連結 合計		<u>5.8</u>	<u>33,895</u>	<u>5.2</u>	<u>29,168</u>	<u>4,727</u>	<u>16.2</u>

【海外売上高（仕向地ベース）】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
国内		<u>38.1</u>	<u>223,520</u>	40.3	<u>223,875</u>	<u>△355</u>	<u>△0.2</u>
海外							
米州		<u>21.6</u>	<u>126,873</u>	<u>18.6</u>	103,459	<u>23,414</u>	<u>22.6</u>
欧州		<u>12.2</u>	71,215	12.9	72,025	△810	△1.1
アジア及びその他		<u>28.1</u>	<u>165,068</u>	<u>28.2</u>	<u>156,757</u>	<u>8,311</u>	<u>5.3</u>
計		<u>61.9</u>	<u>363,156</u>	59.7	<u>332,241</u>	<u>30,915</u>	<u>9.3</u>
連結 合計		100.0	<u>586,676</u>	100.0	<u>556,116</u>	<u>30,560</u>	<u>5.5</u>

(注) 【海外売上高（仕向地ベース）】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中嶋 成博
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 吉澤 ちさと TEL 03-6271-1111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	590,918	5.8	36,193	21.3	44,610	49.4	24,305	58.2
27年3月期第1四半期	558,362	△1.8	29,838	18.8	29,866	△1.5	15,365	2.8

(注) 四半期包括利益 28年3月期第1四半期 61,871百万円 (395.1%) 27年3月期第1四半期 12,497百万円 (△78.0%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	50.59	50.43
27年3月期第1四半期	31.88	31.79

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,577,442	2,492,334	2,254,974	63.0
27年3月期	3,556,569	2,467,416	2,232,714	62.8

(注) 資本合計(純資産)は、P. 8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	25.00	-	35.00	60.00
28年3月期	-				
28年3月期(予想)		32.50	-	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,580,000	3.5	190,000	10.2	190,000	△3.6	120,000	1.2	248.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成27年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

(注) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	514,625,728株	27年3月期	514,625,728株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	39,417,205株	27年3月期	32,398,163株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	480,403,603株	27年3月期1Q	481,972,519株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 5
4. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(四半期連結損益計算書)	P. 8
(四半期連結包括利益計算書)	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減額	増減率
国内売上高	38.4%	2,270	40.3%	2,253	17	0.8%
海外売上高	61.6%	3,639	59.7%	3,331	308	9.2%
売上高	100.0%	5,909	100.0%	5,584	325	5.8%
営業利益	6.1%	362	5.3%	298	64	21.3%
税金等調整前四半期純利益	7.5%	446	5.3%	299	147	49.4%
当社株主帰属四半期純利益	4.1%	243	2.8%	154	89	58.2%
為替レート (円/米\$)		121円		102円		19円
為替レート (円/Euro)		134円		140円		△6円

(注) 表紙の税引前当期純利益を税金等調整前当期純利益に読み替えております。

平成28年3月期第1四半期累計期間(平成27年4月1日～6月30日)の世界経済を概観すると、全体として緩やかな回復基調が継続しました。米国では、個人消費を中心に、景気は緩やかな拡大が続きました。欧州では、英国の景気が底堅さを維持していることに加え、ユーロ圏の景気も緩やかな回復が続きました。アジアでは、中国の景気の拡大テンポは一段と緩やかになっているものの、総じて堅調な成長を維持しました。日本においては、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループは平成26年11月に策定した中期経営計画「VISION2016」(平成27年3月期～平成29年3月期)を達成すべく、「ヘルスケア」「高機能材料」「ドキュメント」の3事業分野を成長ドライバーとし、拡販活動や新製品の市場投入により、売上、シェア及び利益の拡大を進めています。また、その他の事業においてもビジネス規模と市場での優位性を維持するとともに、あらゆる企業活動において生産性向上と効率化を進め、全事業における収益性向上に向けた取り組みを加速しています。

当社グループの平成28年3月期第1四半期における連結売上高は、フォトイメージング事業、メディカルシステム事業、グラフィックシステム事業、ドキュメント事業などで売上を伸ばし、5,909億円(前年同期比5.8%増)となりました。

営業利益は、各事業における収益性の改善などにより、362億円(前年同期比21.3%増)となりました。これに加えて、投資有価証券売却益56億円を営業外収益に計上したことなどにより、税金等調整前四半期純利益は446億円(前年同期比49.4%増)、当社株主帰属四半期純利益は243億円(前年同期比58.2%増)となりました。

当四半期の円為替レートは、対米ドルで121円、対ユーロで134円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減額	増減率
イメージングソリューション	849	790	59	7.4%
インフォメーションソリューション	2,181	2,049	132	6.5%
ドキュメントソリューション	2,879	2,745	134	4.9%
連結合計	5,909	5,584	325	5.8%

【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減額	増減率
イメージングソリューション	45	32	13	39.4%
インフォメーションソリューション	149	127	22	17.4%
ドキュメントソリューション	241	217	24	10.9%
全社費用及びセグメント間取引消去	△73	△78	5	—
連結合計	362	298	64	21.3%

「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、フォトイメージング事業で売上を伸ばし、849億円（前年同期比7.4%増）となりました。

当部門の営業利益は、フォトイメージング事業の売上高の増加に伴う粗利の増加などにより、45億円（前年同期比39.4%増）となりました。

フォトイメージング事業では、インスタントカメラ“チェキ”シリーズや多種多様なチェキフィルムなど、撮影したその場で写真プリントが楽しめるインスタントフォトシステムの販売が全世界で好調に推移しました。また、多くの写真データから良い写真を自動でレイアウトし1冊のアルバムにする「Year Album」や複数の写真を1枚にまとめてプリントする「シャッフルプリント」などの付加価値プリントビジネスの拡大と、付加価値プリントを可能にするプリント機器の販売・設置が進んだことにより売上が大幅に増加しました。

光学・電子映像事業の電子映像分野では、デジタルカメラの高級機へのシフトに伴い販売台数が減少し、売上は減少したものの、プレミアムデジタルカメラ「Xシリーズ」の販売が好調に推移しました。平成27年6月に小型軽量ボディで卓越した写真画質と快適な操作性を実現するプレミアムミラーレスカメラ「FUJIFILM X-T10」の販売を開始しました。今後も「Xシリーズ」のラインアップを強化していきます。光学デバイス分野では、スマートフォン用カメラモジュールの販売が低調に推移し、売上が減少しました。今後、他社に先駆けて発売した4Kカメラ対応の放送用ズームレンズの拡販などにより、売上拡大を図ります。

「インフォメーションソリューション部門」

インフォメーションソリューション部門の連結売上高は、フラットパネルディスプレイ材料事業の売上が減少したものの、メディカルシステム事業やグラフィックシステム事業などで売上を伸ばし、2,181億円（前年同期比6.5%増）となりました。

当部門の営業利益は、売上高の増加に伴う粗利の増加や収益性改善などにより、149億円（前年同期比17.4%増）となりました。

メディカルシステム事業では、医療ITシステム、内視鏡、超音波診断装置などの販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。X線画像診断分野では、低価格・小型デジタルX線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズの販売が新興国などの海外を中心に、DR方式・カセット型デジタルX線画像診断装置「CALNEO（海外名称：D-EVO）」シリーズの販売が国内・欧米を中心に、それぞれ好調に推移しました。医療IT分野では、医療情報統合による診療支援のため、医用画像情報システム（PACS）を中心に診療分野での事業拡大を進めています。平成27年5月にはPACSの診断画像や各種動画など病院内の各診療科が扱う広範な診療情報を効率的に管理・保管するアーカイブシステムを提供する米国医療ITシステムメーカー TeraMedica, Inc.（テラメディカ社）の買収を完了し、連結子会社化しました。テラメディカ社のシステムと、当社の医療ITシステムを組み合わせることで、今まで以上に効率的で、診断に寄与するソリューションを提案していきます。内視鏡分野では、新高画質電子内視鏡や次世代内視鏡システム「LASEREO」などの販売が好調に推移しました。平成27年5月には「LASEREO」用スコープとして初めて高解像度CMOSセンサーを搭載した、下部消化管用拡大スコープ「EC-L600ZP」の販売を国内で開始しました。超音波診断分野では、ハイエンド超音波画像診断装置「X-Porte」の販売が北米と豪州を中心に好調に推移しました。

医薬品事業では、国内の抗菌薬市場全体が低調であったものの、バイオ医薬品受託製造が堅調に推移し、売上は増加しました。また、キノロン系経口合成抗菌薬「T-3811」の中国における独占販売契約を、平成27年6月に現地有力製薬会社の深圳万樂薬業有限公司と締結しました。研究開発においては、抗がん剤やアルツハイマー型認知症治療薬などのパイプラインの開発を着実に推進しています。

再生医療事業では、iPS細胞の開発・製造の世界的なリーディングカンパニーである米国Cellular Dynamics International, Inc.の買収を平成27年5月に完了し、連結子会社化しました。平成26年12月に連結子会社化した株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングと共に、当社グループ内でのシナジーを発揮し、製品開発の加速、事業領域の拡大を進めていきます。

ライフサイエンス事業では、新製品の多機能UVクリア美容液「アスタリフト ホワイト パーフェクトUV クリアソリューション」の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、偏光板の在庫調整などの影響を受け、売上が減少しました。今後、需要の回復が見込まれる液晶テレビ向けで拡販を図るとともに、需要が拡大している中小型ディスプレイ向けに薄膜品の拡販を推し進めます。さらに偏光板に留まらず、タッチパネル及びバックライト関連など新規分野への展開を図っていきます。

産業機材事業では、スマートフォン・タブレット・ノートPCなどに搭載されるタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」や太陽電池用バックシートなど新規事業の販売が好調に推移したことなどにより、売上が大幅に増加しました。

電子材料事業では、先端品のフォトリソト及び現像液、処理剤などのフォトリソ周辺材料の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

記録メディア事業では、データストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移し、売上が増加しました。世界中で生成されるデータ総容量の急激な増大が予想される中、「BaFe（バリウムフェライト）磁性体」などの独自技術によるテープ高容量化で業界をリードするとともに、データアーカイブサービス「d:ternity（ディターニティ）」のさらなる展開などにより、長期保存分野への一層の高付加価値製品とサービスの提供を進め、売上拡大を図ります。

グラフィックシステム事業では、産業用インクジェットヘッドなどの販売が好調に推移し、売上が増加しました。今後も主力であるCTPプレートのシェア拡大に加え、デジタルプリンティング機器の拡販などにより、売上拡大を図ります。

「ドキュメントソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出の売上が増加し、2,879億円（前年同期比4.9%増）となりました。

当部門の営業利益は、継続的な販売価格の下落と米ドル高による原価アップの影響はあったものの、売上高の増加に伴う粗利の増加などにより、241億円（前年同期比10.9%増）となりました。

オフィスプロダクト事業では、販売台数は増加しましたが、売上は前年同期並みとなりました。国内においては、カラー複合機販売が好調に推移しました。アジア・オセアニア地域においては、モノクロ複合機販売が好調に推移しました。

オフィスプリンター事業では、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

プロダクションサービス事業では、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売が中高速機から低速機まで好調に推移したことに加え、モノクロ・プロダクション・プリンターの販売も好調に推移し、売上が増加しました。

グローバルサービス事業では、マネージド・プリント・サービス（MPS）ビジネスが好調に推移し、国内及びアジア・オセアニア地域ともに売上が増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

平成28年3月期第1四半期末は、営業権が増加したことなどにより、前期末（平成27年3月31日）に比べ、資産合計が208億円増の3兆5,774億円となりました。負債は41億円減の1兆851億円となりました。株主資本は223億円増の2兆2,550億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ3.0ポイント減の309.3%、負債比率は0.7ポイント減の48.1%、株主資本比率は0.2ポイント増の63.0%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	1,005	△322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545	△344	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449	△357	△92

平成28年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、683億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、事業の買収などにより、545億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、138億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式取得などにより、449億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の平成28年3月期第1四半期末残高は、前期末（平成27年3月31日）に比べ239億円減少し、7,030億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期業績は、当社グループの重点事業である「ヘルスケア」「高機能材料」「ドキュメント」を中心とした事業成長に加え、各事業における収益性の改善などにより、連結売上高は2兆5,800億円（前期比3.5%増）、営業利益は1,900億円（前期比10.2%増）、税金等調整前当期純利益は1,900億円（前期比3.6%減）、当社株主帰属当期純利益は1,200億円（前期比1.2%増）を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを120円、対ユーロ円為替レートを130円で想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別 平成28年3月期 第1四半期 連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成27年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]			
流動資産			
現金及び現金同等物	703,019	726,888	△23,869
有価証券	18,023	19,033	△1,010
受取債権			
営業債権及びリース債権	<u>622,152</u>	<u>671,807</u>	<u>△49,655</u>
関連会社等に対する債権	30,648	31,816	△1,168
貸倒引当金	<u>△22,589</u>	<u>△22,610</u>	<u>21</u>
	<u>630,211</u>	<u>681,013</u>	<u>△50,802</u>
棚卸資産	<u>404,295</u>	<u>372,513</u>	<u>31,782</u>
前払費用及びその他の流動資産	<u>149,789</u>	<u>143,768</u>	<u>6,021</u>
流動資産 合計	<u>1,905,337</u>	<u>1,943,215</u>	<u>△37,878</u>
投資及び長期債権			
関連会社等に対する投資及び貸付金	<u>30,467</u>	<u>29,426</u>	1,041
投資有価証券	191,250	186,722	4,528
長期リース債権及びその他の長期債権	<u>175,232</u>	<u>169,139</u>	<u>6,093</u>
貸倒引当金	<u>△4,399</u>	<u>△4,370</u>	<u>△29</u>
投資及び長期債権 合計	<u>392,550</u>	<u>380,917</u>	<u>11,633</u>
有形固定資産			
土地	93,433	94,304	△871
建物及び構築物	<u>726,716</u>	<u>723,809</u>	<u>2,907</u>
機械装置及びその他の有形固定資産	<u>1,764,875</u>	<u>1,743,646</u>	<u>21,229</u>
建設仮勘定	23,657	23,396	261
	<u>2,608,681</u>	<u>2,585,155</u>	<u>23,526</u>
減価償却累計額	<u>△2,079,766</u>	<u>△2,057,778</u>	<u>△21,988</u>
有形固定資産 合計	<u>528,915</u>	<u>527,377</u>	<u>1,538</u>
その他の資産			
営業権	<u>550,722</u>	504,963	<u>45,759</u>
その他の無形固定資産	<u>79,046</u>	80,271	<u>△1,225</u>
その他	<u>120,872</u>	<u>119,826</u>	<u>1,046</u>
その他の資産 合計	<u>750,640</u>	<u>705,060</u>	<u>45,580</u>
資産 合計	<u>3,577,442</u>	<u>3,556,569</u>	<u>20,873</u>

単位 百万円

科目	期別 平成28年3月期 第1四半期 連結会計期間末 平成27年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成27年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	45,869	36,644	9,225
支払債務			
営業債務	237,568	248,527	△10,959
設備関係債務	15,749	16,733	△984
関連会社等に対する債務	3,569	3,723	△154
	<u>256,886</u>	<u>268,983</u>	<u>△12,097</u>
未払法人税等	15,972	20,443	△4,471
未払費用	207,715	195,270	12,445
その他の流動負債	89,641	100,945	△11,304
流動負債 合計	<u>616,083</u>	<u>622,285</u>	<u>△6,202</u>
固定負債			
社債及び長期借入金	312,970	313,045	△75
退職給付引当金	29,794	30,711	△917
預り保証金及びその他の固定負債	126,261	123,112	3,149
固定負債 合計	<u>469,025</u>	<u>466,868</u>	<u>2,157</u>
負債 合計	<u>1,085,108</u>	<u>1,089,153</u>	<u>△4,045</u>
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	—
普通株式			
発行可能株式総数 800,000,000株			
発行済株式総数 514,625,728株			
資本剰余金	75,439	75,588	△149
利益剰余金	2,150,380	2,126,075	24,305
その他の包括利益(△損失)累積額	122,841	91,589	31,252
自己株式	△134,049	△100,901	△33,148
株主資本 合計	<u>2,254,974</u>	<u>2,232,714</u>	<u>22,260</u>
非支配持分	237,360	234,702	2,658
純資産 合計	<u>2,492,334</u>	<u>2,467,416</u>	<u>24,918</u>
負債・純資産 合計	<u>3,577,442</u>	<u>3,556,569</u>	<u>20,873</u>

(注) その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成27年6月30日現在	平成27年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	75,065	70,832	4,233
為替換算調整額	124,545	98,703	25,842
年金負債調整額	△75,805	△76,966	1,161
デリバティブ未実現損益	△964	△980	16

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

単位 百万円

科目	期別		平成27年3月期 第1四半期		平成28年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
	自	至	自	至	自	至	増減額	増減率
売上高								
売上高		%		%				
売上高								
レンタル収入								
売上原価								
売上原価								
レンタル原価								
売上総利益								
営業費用								
販売費及び一般管理費								
研究開発費								
営業利益								
営業外収益及び費用 (△)								
受取利息及び配当金								
支払利息								
為替差損益・純額								
投資有価証券売却損益・純額								
その他損益・純額								
税金等調整前四半期純利益								
法人税等								
持分法による投資損益								
四半期純利益								
控除：非支配持分帰属損益								
当社株主帰属四半期純利益								

(四半期連結包括利益計算書)

単位 百万円

科目	期別 平成28年3月期 第1四半期 自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	平成27年3月期 第1四半期 自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	増減 (△は減少)
四半期純利益	28,272	19,066	9,206
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後			
有価証券未実現損益変動額	4,413	2,952	1,461
為替換算調整額	28,014	△9,480	37,494
年金負債調整額	1,169	657	512
デリバティブ未実現損益変動額	3	△698	701
その他の包括利益(△損失) 合計	33,599	△6,569	40,168
四半期包括利益	61,871	12,497	49,374
控除：非支配持分帰属四半期包括損益	△6,314	△3,425	△2,889
当社株主帰属四半期包括利益	55,557	9,072	46,485

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	増減 (△は減少)
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		28,272	19,066	9,206
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		28,648	29,074	△426
(2) 投資有価証券売却損益		△5,626	—	△5,626
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		1,231	139	1,092
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		59,218	74,370	△15,152
棚卸資産の増加		△25,539	△16,629	△8,910
営業債務の減少		△14,097	△13,424	△673
未払法人税等及びその他負債の増加		13,288	18,995	△5,707
(5) その他		△17,078	△11,108	△5,970
小計		40,045	81,417	△41,372
営業活動によるキャッシュ・フロー		68,317	100,483	△32,166
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△13,795	△16,028	2,233
2. ソフトウェアの購入		△5,784	△3,957	△1,827
3. 有価証券・投資有価証券の売却・満期償還		18,303	1,678	16,625
4. 有価証券・投資有価証券の購入		△10,301	△11,296	995
5. 定期預金の増加(△)・減少(純額)		△571	615	△1,186
6. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加		△2,100	△1,150	△950
7. 事業の買収 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△35,241	1,523	△36,764
8. その他		△4,970	△5,763	793
投資活動によるキャッシュ・フロー		△54,459	△34,378	△20,081
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		668	43	625
2. 長期債務の返済額		△621	△525	△96
3. 短期債務の増加・減少(△)(純額)		9,084	△17,276	26,360
4. 親会社による配当金支払額		△16,878	△14,459	△2,419
5. 非支配持分への配当金支払額		△3,657	△3,497	△160
6. 自己株式の取得(純額)		△33,540	△3	△33,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		△44,944	△35,717	△9,227
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		7,217	△2,732	9,949
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		△23,869	27,656	△51,525
VI. 現金及び現金同等物期首残高		726,888	604,571	122,317
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		703,019	632,227	70,792

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
イメージングソリューション：							
外部顧客に対するもの		<u>14.4</u>	<u>84,870</u>	<u>14.1</u>	79,012	<u>5,858</u>	<u>7.4</u>
セグメント間取引			747		538	209	—
計			<u>85,617</u>		79,550	<u>6,067</u>	<u>7.6</u>
インフォメーションソリューション：							
外部顧客に対するもの		<u>36.9</u>	<u>218,122</u>	36.7	<u>204,836</u>	<u>13,286</u>	<u>6.5</u>
セグメント間取引			271		442	△171	—
計			<u>218,393</u>		<u>205,278</u>	<u>13,115</u>	<u>6.4</u>
ドキュメントソリューション：							
外部顧客に対するもの		<u>48.7</u>	<u>287,926</u>	<u>49.2</u>	<u>274,514</u>	<u>13,412</u>	<u>4.9</u>
セグメント間取引			1,893		1,778	115	—
計			<u>289,819</u>		<u>276,292</u>	<u>13,527</u>	<u>4.9</u>
セグメント間取引消去			△2,911		△2,758	△153	—
連結 合計		100.0	<u>590,918</u>	100.0	<u>558,362</u>	<u>32,556</u>	<u>5.8</u>

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
営業利益：		%		%			%
イメージングソリューション		<u>5.2</u>	<u>4,489</u>	4.0	<u>3,221</u>	<u>1,268</u>	<u>39.4</u>
インフォメーションソリューション		<u>6.8</u>	<u>14,940</u>	6.2	<u>12,725</u>	<u>2,215</u>	<u>17.4</u>
ドキュメントソリューション		<u>8.3</u>	<u>24,050</u>	<u>7.8</u>	<u>21,684</u>	<u>2,366</u>	<u>10.9</u>
計			<u>43,479</u>		<u>37,630</u>	<u>5,849</u>	<u>15.5</u>
全社費用及びセグメント間取引消去			△7,286		△7,792	506	—
連結 合計		<u>6.1</u>	<u>36,193</u>	<u>5.3</u>	<u>29,838</u>	<u>6,355</u>	<u>21.3</u>

(注1) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージングソリューション

: カラーフィルム、デジタルカメラ、光学デバイス、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーションソリューション

: メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等

ドキュメントソリューション

: オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

② 所在地別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
日本							
外部顧客に対するもの		<u>48.7</u>	<u>287,637</u>	50.8	<u>283,882</u>	<u>3,755</u>	<u>1.3</u>
セグメント間取引			110,825		99,596	11,229	—
計			<u>398,462</u>		<u>383,478</u>	<u>14,984</u>	<u>3.9</u>
米州							
外部顧客に対するもの		<u>18.4</u>	<u>108,907</u>	16.4	91,292	<u>17,615</u>	<u>19.3</u>
セグメント間取引			11,781		10,813	968	—
計			<u>120,688</u>		102,105	<u>18,583</u>	<u>18.2</u>
欧州							
外部顧客に対するもの		8.6	50,623	<u>9.7</u>	54,367	△3,744	△6.9
セグメント間取引			4,546		5,104	△558	—
計			55,169		59,471	△4,302	△7.2
アジア及びその他							
外部顧客に対するもの		24.3	<u>143,751</u>	<u>23.1</u>	<u>128,821</u>	<u>14,930</u>	<u>11.6</u>
セグメント間取引			87,565		74,338	13,227	—
計			<u>231,316</u>		<u>203,159</u>	<u>28,157</u>	<u>13.9</u>
セグメント間取引消去			△214,717		△189,851	△24,866	—
連結 合計		100.0	<u>590,918</u>	100.0	<u>558,362</u>	<u>32,556</u>	<u>5.8</u>

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
営業利益：		%		%			%
日本		<u>3.3</u>	<u>13,272</u>	<u>4.2</u>	<u>15,941</u>	△2,669	△16.7
米州		<u>3.8</u>	<u>4,629</u>	2.6	2,618	<u>2,011</u>	<u>76.8</u>
欧州		<u>6.0</u>	<u>3,308</u>	<u>1.5</u>	<u>864</u>	<u>2,444</u>	<u>282.9</u>
アジア及びその他		<u>6.7</u>	<u>15,448</u>	<u>6.5</u>	<u>13,158</u>	<u>2,290</u>	<u>17.4</u>
セグメント間取引消去			△464		△2,743	2,279	—
連結 合計		<u>6.1</u>	<u>36,193</u>	<u>5.3</u>	<u>29,838</u>	<u>6,355</u>	<u>21.3</u>

【海外売上高（仕向地ベース）】

単位 百万円

科目	期別	平成28年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
国内		<u>38.4</u>	<u>227,023</u>	40.3	<u>225,245</u>	<u>1,778</u>	<u>0.8</u>
海外							
米州		<u>21.3</u>	<u>126,106</u>	<u>18.5</u>	103,459	<u>22,647</u>	<u>21.9</u>
欧州		<u>12.1</u>	71,215	12.9	72,025	△810	△1.1
アジア及びその他		<u>28.2</u>	<u>166,574</u>	<u>28.3</u>	<u>157,633</u>	<u>8,941</u>	<u>5.7</u>
計		<u>61.6</u>	<u>363,895</u>	59.7	<u>333,117</u>	<u>30,778</u>	<u>9.2</u>
連結 合計		100.0	<u>590,918</u>	100.0	<u>558,362</u>	<u>32,556</u>	<u>5.8</u>

(注) 【海外売上高（仕向地ベース）】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。